

保護者の皆様

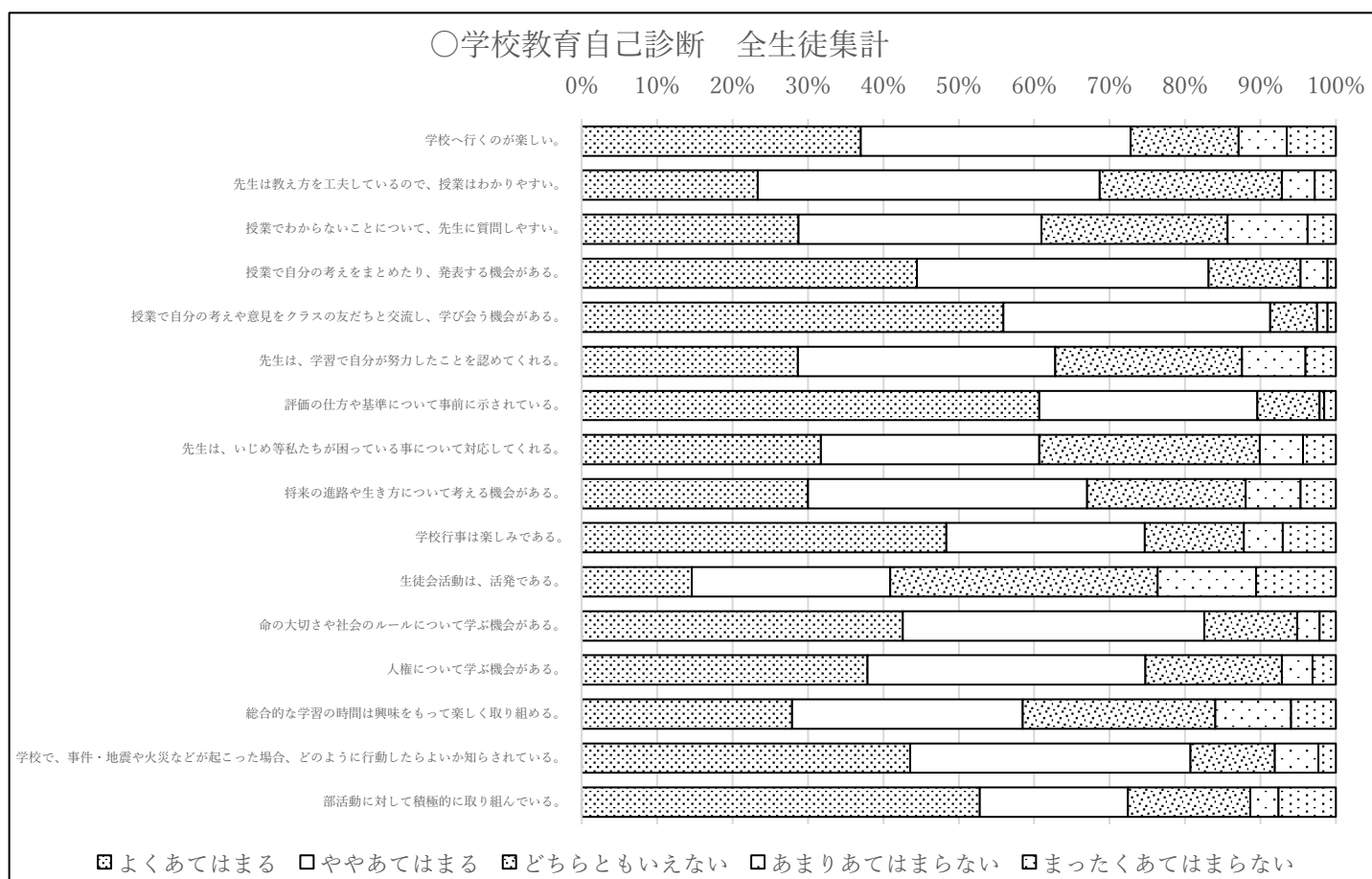
吹田市立山田中学校
校長 小早川 靖樹

学校教育アンケート結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年11月にご協力いただきました学校教育アンケートの集計が完了しましたのでお知らせいたします。アンケート結果は教職員で共有させていただき、今後の教育活動の充実に活用してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

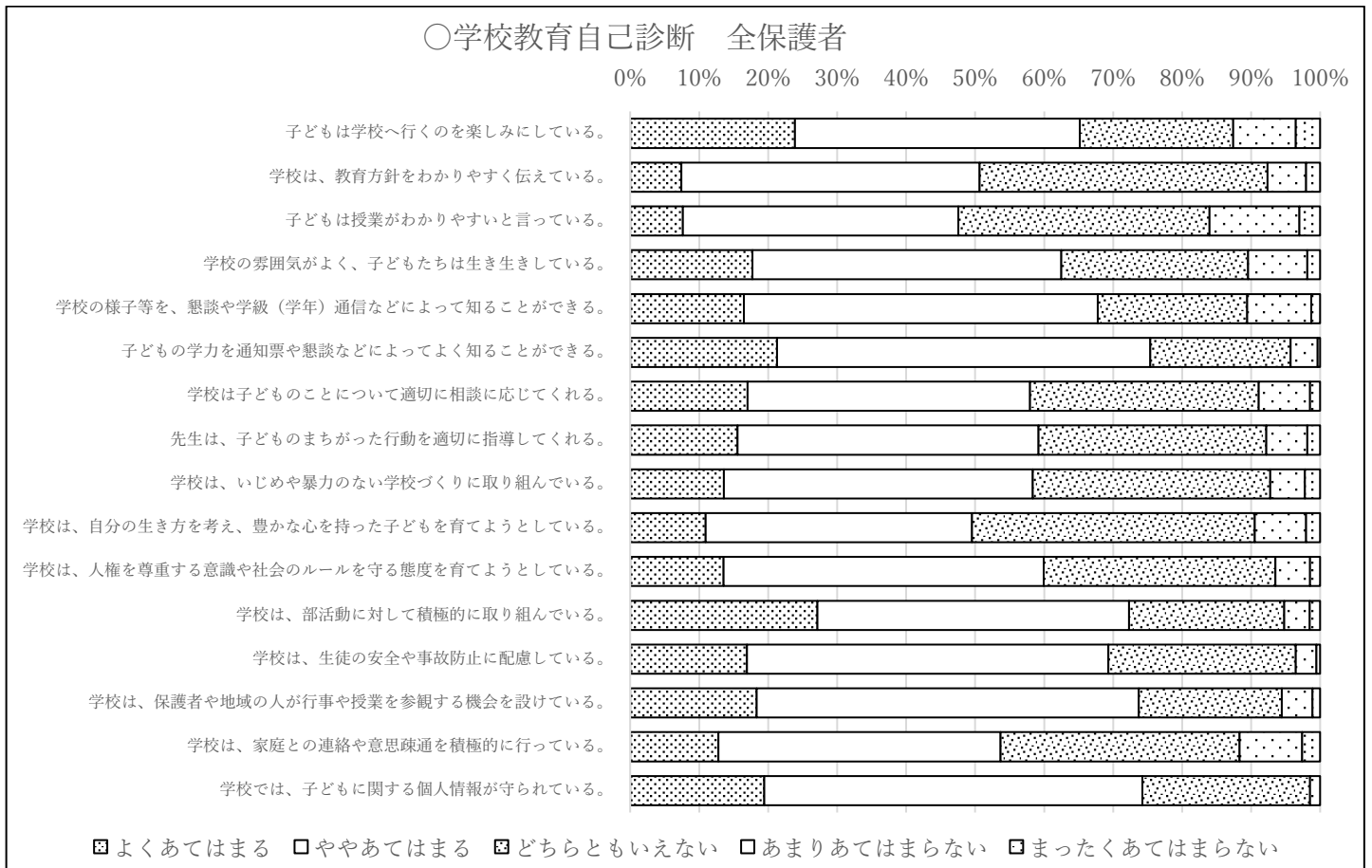
1 生徒アンケート結果



「授業で自分の考えや意見をクラスの友だちと交流し、学びあう機会がある」「評価の仕方や基準について事前に示されている」「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」「学校で事件・地震や火災などが起こった場合、どのように行動したらよいか知らされている」の項目で、肯定的回答（よくあてはまる・ややあてはまるの合計）が8割を超えました。

一方、「生徒会活動は、活発である」の項目では、肯定的意見が6割を下回っています。

2 保護者アンケート結果



「子どもの学力を通知票や懇談などによってよく知ることができる」「学校では、子どもに関する個人情報が守られている」「学校は、保護者や地域の人が行事や授業を参観する機会を設けている」「学校は、部活動に対して積極的に取り組んでいる」の項目で、肯定的回答が7割を超えました。

一方、これまでと比べて改善されているものの「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目では、肯定的意見が5割を下回っています。

3 結果分析

吹田市立山田中学校 令和4年度 学校経営方針

全教職員の協働体制のもと、めざす学校像の実現に向け、すべての教育活動において、子どもたちに付けたい力を明確にして取り組みを進め、「元気が出る」学校づくりをめざす。

- 1 思考力、判断力、表現力を伸ばす授業の充実
- 2 生徒を深く理解し、一人ひとりが生かされる教育活動の展開
- 3 基本的な生活習慣を確立し、自主的に動く自立した生徒の育成
- 4 ともに助け合い、協力してやりぬく大切さを実感できる集団の育成
- 5 保護者・地域から信頼される学校づくり

本アンケートでは質問項目を同一のものとし、経年比較を行えるようにしております。

【授業づくりについて】

直近3年連続で以下の質問の肯定的回答率が向上しました。

生徒④ 授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。

生徒⑤ 授業で自分の考えや意見をクラスの友だちと交流し、学び合う機会がある。

生徒⑦ 評価の仕方や基準について事前に示されている。

生徒③ 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。

保護者③ 子どもは授業がわかりやすいと言っている。

学んだことをもとに自ら考え、整理し、口頭もしくは文章で発表するといった、「思考力・判断力・表現力を伸ばす授業の充実」に向けての取組の成果が現れているものと考えております。また、この取組により、生徒にとって評価（できたかどうか）の基準が明確になるとともに、どこがわからないのかについても明確になるため、生徒への質問もしやすくなったのではないかと考えております。

【昨年度の課題について】

保護者⑭ 学校では保護者や地域の方が行事や授業を参観する機会を設けている。

3年ぶりに肯定的回答率が向上しました。行動制限の緩和に伴い、保護者の皆様に子どもたちの様子をご覧いただける機会が少しずつ増えてきたためであると考えられます。

一方、

生徒① 学校に行くのが楽しい。

保護者① 子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。

保護者⑤ 学校の様子等を懇談や学級（学年）通信などによって知ることができる。

子どもたちの「学校へ行くのが楽しい」については昨年度より肯定的回答率が向上しましたが、保護者の「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」「学校の様子等を懇談や学級（学年）通信などによって知ることができる」については昨年度より低下しました。保護者や地域への学校教育活動や学校での子どもたちへの様子にかかる発信が不十分であったと考えております。

また、

生徒⑪ 生徒会活動は活発である。

生徒⑭ 総合的な学習は興味をもって楽しく取り組める。

については、直近3年連続で肯定的回答率が低下しました。生徒会活動につきましては、本部・各委員会が活動方針を立てて取り組んでおりますが、活性化を図るために会長（委員長）を中心に自主的・意欲的に取り組めるよう見守り、支援していくことが大切であると考えております。総合的な学習の時間につきましては、校内職業体験をはじめとして新たな取組を進めておりますが、子どもたちに取組の目的やつきたい力等が十分に伝わっておらず、教職員の指示に従って取り組むにとどまっている生徒が含まれているのではないかと考えております。

以上の分析結果をもとに、今後もできる喜びを実感できる授業づくりに努めるとともに、発信や伝達、支援のあり方にかかる改善を図ってまいります。今後も引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。